

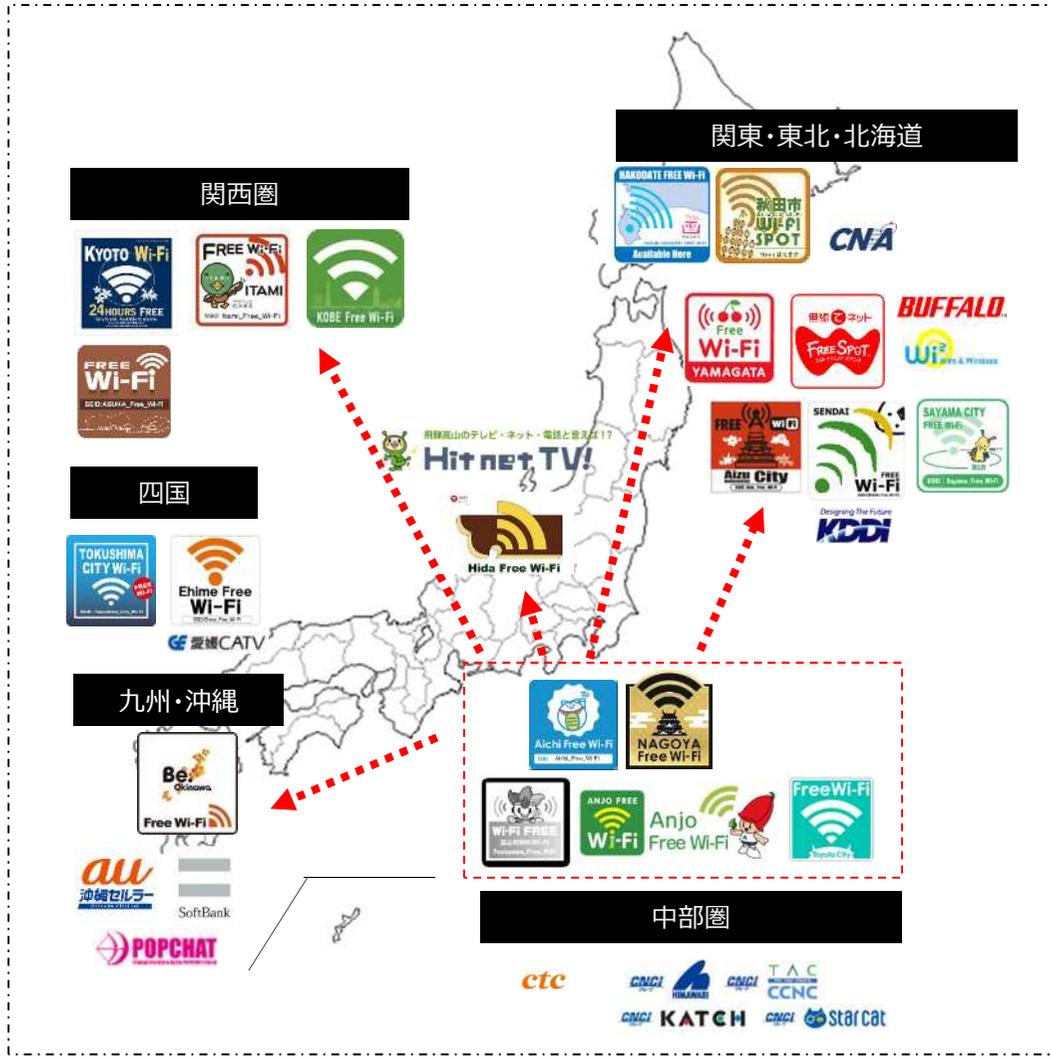
あいち無料公衆無線LAN推進協議会

認証連携フィールドトライアル成果ご報告

一般社団法人 公衆無線LAN認証管理機構
2019年3月26日

全国における対応エリア状況

愛知県の認証連携フィールドトライアルを端緒として
各地で認証連携の取り組みが拡大



Wi-Certご登録済自治体様一覧

自治体	Web-API対応SSID
愛媛県	Ehime_Free_Wi-Fi
小谷村	otari-kankou 他
白馬村	HAKUBAVALLEY-Free-Wi-Fi
愛知県	Aichi_Free_Wi-Fi
名古屋市	00_NAGOYA_Free_Wi-Fi
仙台市	SENDAI_free_Wi-Fi
京都市	KYOTO Wi-Fi
函館市	00_HAKODATE_FREE_Wi-Fi
徳島市	Tokushima_City_Wi-Fi
神戸市	KOBE Free Wi-Fi
伊丹市	Itami_Free_Wi-Fi
大垣市	OGAKI_FREE_Wi-Fi
郡上市	GUJO_Free_Wi-Fi
沖縄県	Be.Okinawa_Free_Wi-Fi
粟国村	
伊平屋村	
会津若松市	Aizu_Free_Wi-Fi
会津美里町	
山形県	000Free_Wi-Fi_YAMAGATA
新庄市	SHINJO-wifi
秋田市	Akita-City_WiFi
南あわじ市	RIKUnoMINATO_FREE_Wi-Fi
明日香村	ASUKA_Free_Wi-Fi
狭山市	Sayama_Free_Wi-Fi
豊橋市	Toyohashi_Wi-Cert
豊田市	ToyotaCity_Free_Wi-Fi
飛騨市	Hida Free Wi-Fi
うるま市	Uruma_FreeWi-Fi
長崎市商店街	00(01)-NAGASAKI_Free_Wi-Fi
豊岡市	TOYOOKA_CITY_Free_Wi-Fi
(調整中)	3自治体
安城市	Anjo-City_app
常滑市	Tokoname City_app
みよし市	MiyoshiCity_Free_Wi-Fi_app
豊山町	Toyoyama_Free_WiFi_app
弘前市(予定)	HIROSAKI_Free_Wi-Fi

17年度

16自治体

18年度

30以上を予定

試験運用中の自治体様

既存アプリプラットフォームを活用し、企業ブランドや、地域色のあるアプリを提供する事例も登場

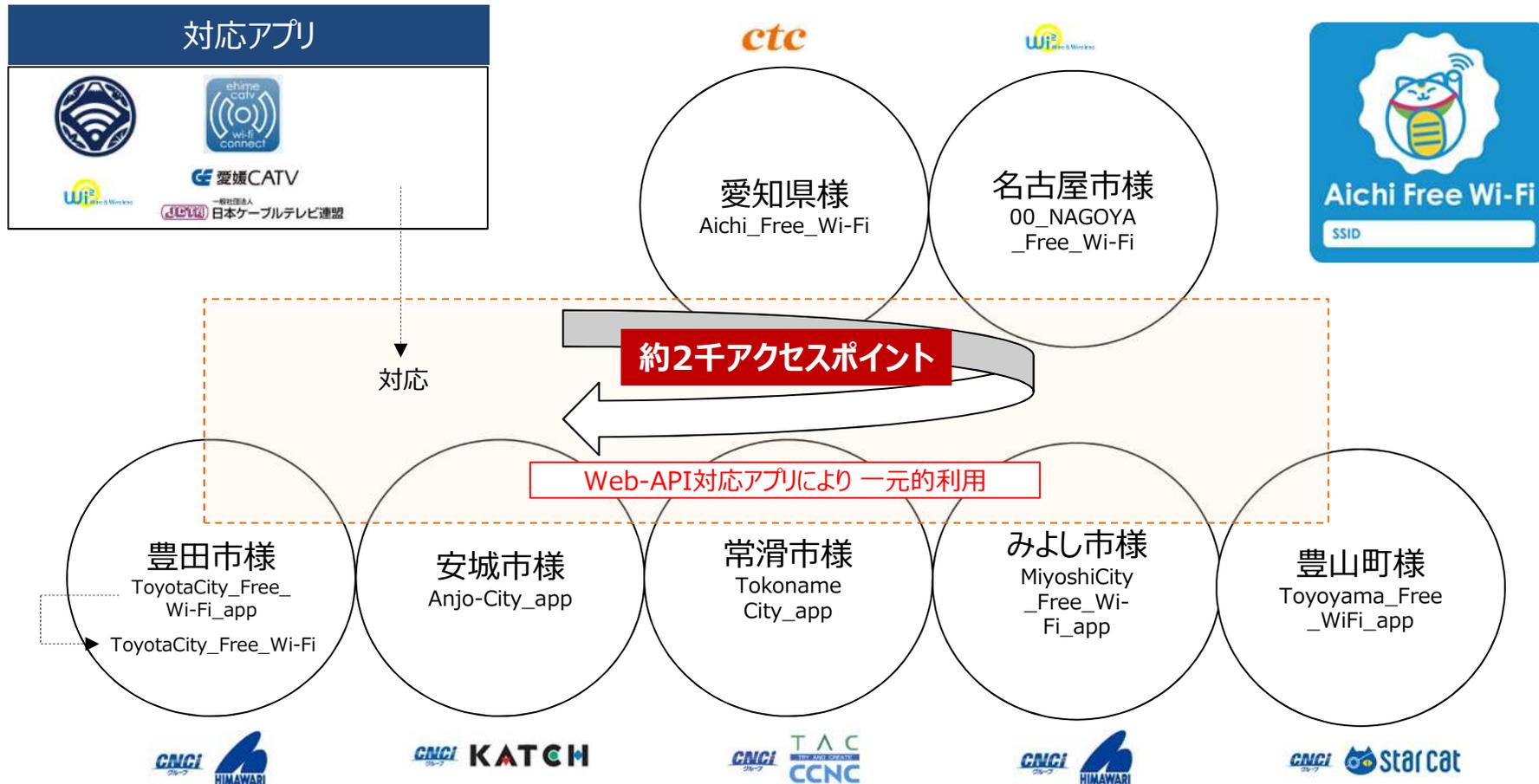
目的	訪日外国人向け支援 (観光情報・クーポン提供等)			接続機能高度化		地域発の取組み			
名称	TRAVEL JAPAN Wi-Fi	JAL Explore Japan Wi-Fi ★	Ponta JAPAN Wi-Fi ★	ギガぞう	エコネクトWi-Fi	えひめFree Wi-Fi 接続アプリ	FREE Wi-Fi YAMAGATA	KANSAI Wi-Fi (Official)	OKINAWA CLIP Wi-Fi ★
イメージ									
対応言語	英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語、タイ語	英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語、タイ語	英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語、タイ語	日本語	日本語	日本語	英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語	日本語、英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語、タイ語	英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語、タイ語
料金	無料 (日本人利用不可)	無料 (日本人利用不可)	無料 (日本人利用不可)	無料 (有料機能あり)	無料 (有料機能あり)	無料	無料	無料	無料 (日本人利用不可)
提供事業者	Wi2	JAL + Wi2	ロイヤリティ マーケティング+ Wi2	Wi2	エコネクト	日本CATV連盟/愛媛CATV	Wi2	関西観光本部	沖縄セルラーA&M + Wi2
Wi-Cert 認証連携 対応エリア	全国 (Wi2 SSIDがあるAPはWi2で認証)	全国 (Wi2 SSIDがあるAPはWi2で認証)	全国 (Wi2 SSIDがあるAPはWi2で認証)	全国	全国	全国	山形県	京都市・京都府・神戸市・滋賀県 (Wi-Cert認証連携による対応エリア)	全国 (Wi2 SSIDがあるAPはWi2で認証)
主な特徴	Wi2エリア(eap対応)+Free Wi-Fi。広告・クーポン配信等	JALブランド版 TRAVEL JAPAN Wi-Fi	Pontaブランド版 TRAVEL JAPAN Wi-Fi	有料でWi2商用エリア利用可能。VPNによる暗号化機能あり。	有料でエコネクト商用エリア利用可能。VPN機能対応予定。	ワンタップ型接続アプリ。他CATV事業者ブランドでの展開も計画	県内観光情報を配信。県内各種方式のWi-Fiを1アプリで利用可能	関西圏各種方式のフリーWi-Fi認証に対応	沖縄ブランド版 TRAVEL JAPAN Wi-Fi
URL	https://japanfreewifi.com/	https://www.ar.jal.co.jp/world/en/jalwifi/		https://wi2.co.jp/jp/personal/gigazo/	https://econnect.jp/w/	https://www.ehime-wifi.jp/pdf/app.pdf	http://yamagatakanco.com/log/?l=429554	http://www.kankeiren.or.jp/kfw/jp/	

インバウンド専用: 200万ダウンロード以上 国内居住者用: 30万ダウンロード以上

初年度(17年度)取り組みの振り返り

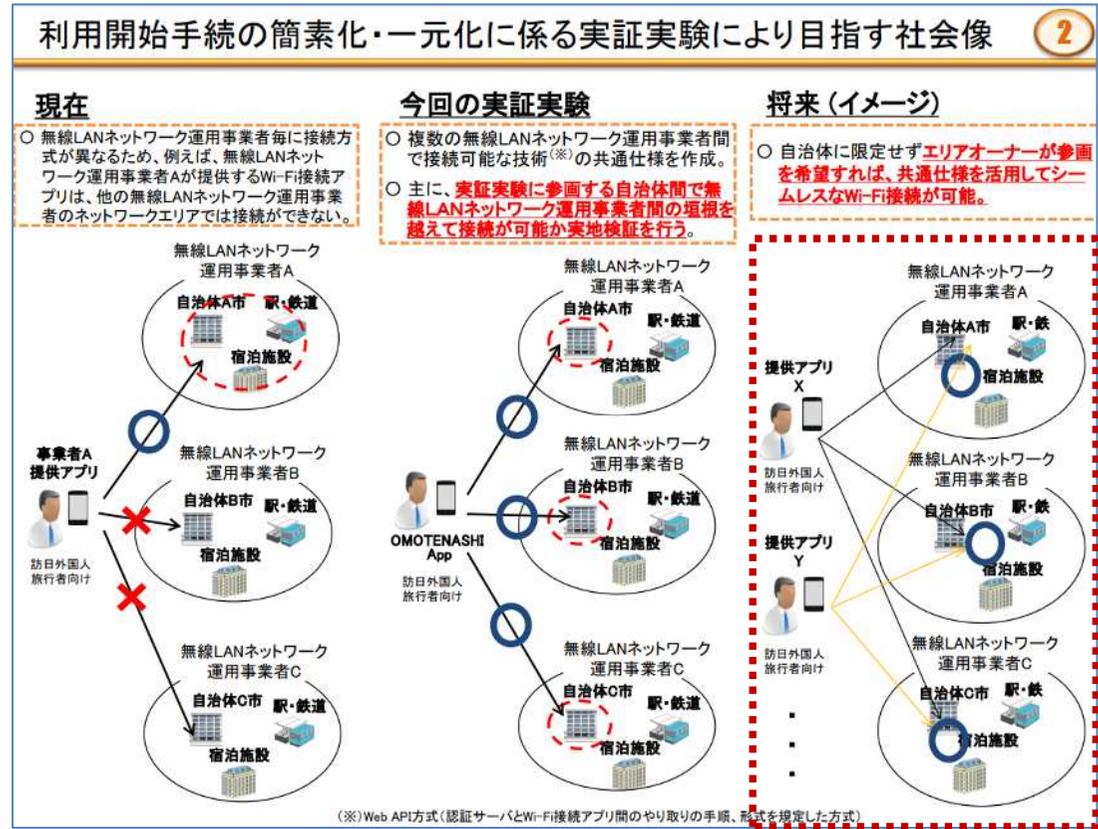
7自治体2アプリでフィールドトライアル環境を構成し、平成29年11月より開始

- Web-APIが商用実装されていた愛知県・名古屋市エリアに加え、CNCIグループCATV局が運営する自治体様フリーWi-FiサービスにおいてWeb-APIを試験運用して広域の実証環境を整備



CNCIグループ(本トライアルにあわせてWeb-APIの試験運用を開始)

フィールドトライアルを通じて、社会像に示された将来イメージが実際に運用可能であることを実証



総務省「利用しやすく安全な公衆無線LAN環境の実現に向けて～訪日外国人に対する無料公衆無線LANサービスの利用開始手続の簡素化・一元化の実現等に向けた取組方針～」資料より(平成28年2月)

**目指す社会像を愛知県内の実環境下に実装
ネットワーク・アプリの対応完了に伴い、2017年11月2日に对外公表し、同9日より運用開始**

【プレスリリース】 <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/wi-fi.html>

平成29年11月2日（水）
愛知県無線LAN推進協議会
無線LAN推進協議会グループ
（愛知県無線LAN推進協議会事務局）
担当 横山 七海
内線 053-505034
FAX 053-505033

**国内初、Web-API方式による無料無線LANの認証連携
フィールドトライアルを実施します**

「愛知県無線LAN推進協議会」（平成27年7月設立、会長：愛知県横山七海）では、無料無線LANの利便性向上のため、利用開始手続きの簡便化・一元化に取り組みたいです。

この度、その一環として、愛知県及び県内各市町村（名古屋、豊田、岡崎市、豊田市、みよし市、豊山町）が整備した無料無線LAN網において、下記のとおり、認証連携フィールドトライアル（実地試験）を実施します。

これにより、場所移動等で利用場所が変わった場合でも、対応エリアであれば、利用者自身が改めて認証手続きを行わずにインターネットの経由が可能となります。なお、認証連携フィールドトライアル終了後は、各自独自において、Web-API方式による認証連携の導入について検討していただきます。

※ Web-API方式による認証連携
Web-API方式は、認証連携協議会にて実装された事業者側の認証連携方式で、一般利用者の無線LAN網設置・運用管理が不要な仕組み。高い事業者による整備。Web-API方式の導入は無線LAN網ネットワークにおいて、事業者が無線LAN網の運用・管理を行う必要がなくなります。

記

1. トライアル期間
平成29年11月9日（水）から平成30年3月31日（土）まで

2. 対応エリア一覧

名称	SSID名	ネットワーク事業者	利用可能場所
豊田	Aichi_Free_Wi-Fi	中間ネットワーク	豊田市民会館、大蔵館 他 http://www.aichi-wi-fi.jp/abn/2017/11/02/20171102_01/
岡崎市	00_NAGOYA_Free_Wi-Fi	中間ネットワーク	岡崎市役所 他 http://www.aichi-wi-fi.jp/abn/2017/11/02/20171102_02/
豊田市	00_NAGOYA_Free_Wi-Fi	中間ネットワーク	豊田市役所 他 http://www.aichi-wi-fi.jp/abn/2017/11/02/20171102_03/
みよし市	00_NAGOYA_Free_Wi-Fi	中間ネットワーク	みよし市役所 他 http://www.aichi-wi-fi.jp/abn/2017/11/02/20171102_04/
豊山町	00_NAGOYA_Free_Wi-Fi	中間ネットワーク	豊山町役所 他 http://www.aichi-wi-fi.jp/abn/2017/11/02/20171102_05/

※ SSID (Service Set Identifier) 無線LAN識別子（ネットワーク識別子）

3. 認証連携について
(1) 対応アプリケーションの導入（登録）が必要です。
(2) 県内の各無線LANアクセスポイントで利用可能となります。

※ アプリケーション
スマートフォン等の無線LANアクセスポイントに接続するもののインストール。

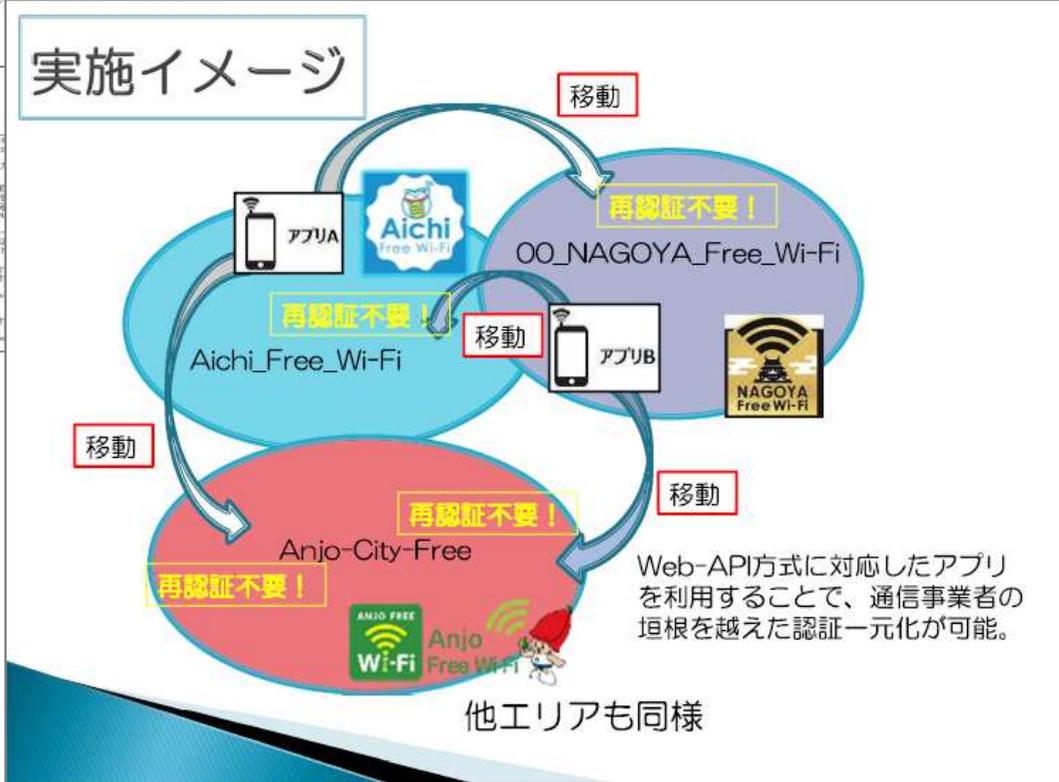
4. 対応アプリケーション

アプリ名称	提供元	対応OS	ダウンロード先	備考
TABLE_APP Free Wi-Fi	ワイヤレス	Android	https://play.google.com/store/apps/details?id=com.aichi.wifi	

※ iOSのFree Wi-Fi接続アプリ
開発中

※ 対応アプリケーションに接続するための認証連携
※ アプリケーションに接続する際のパスワードは、無線LAN推進協議会事務局から提供します。
(注) 平成29年11月2日より提供開始
http://www.aichi-wi-fi.jp/abn/2017/11/02/20171102_06/

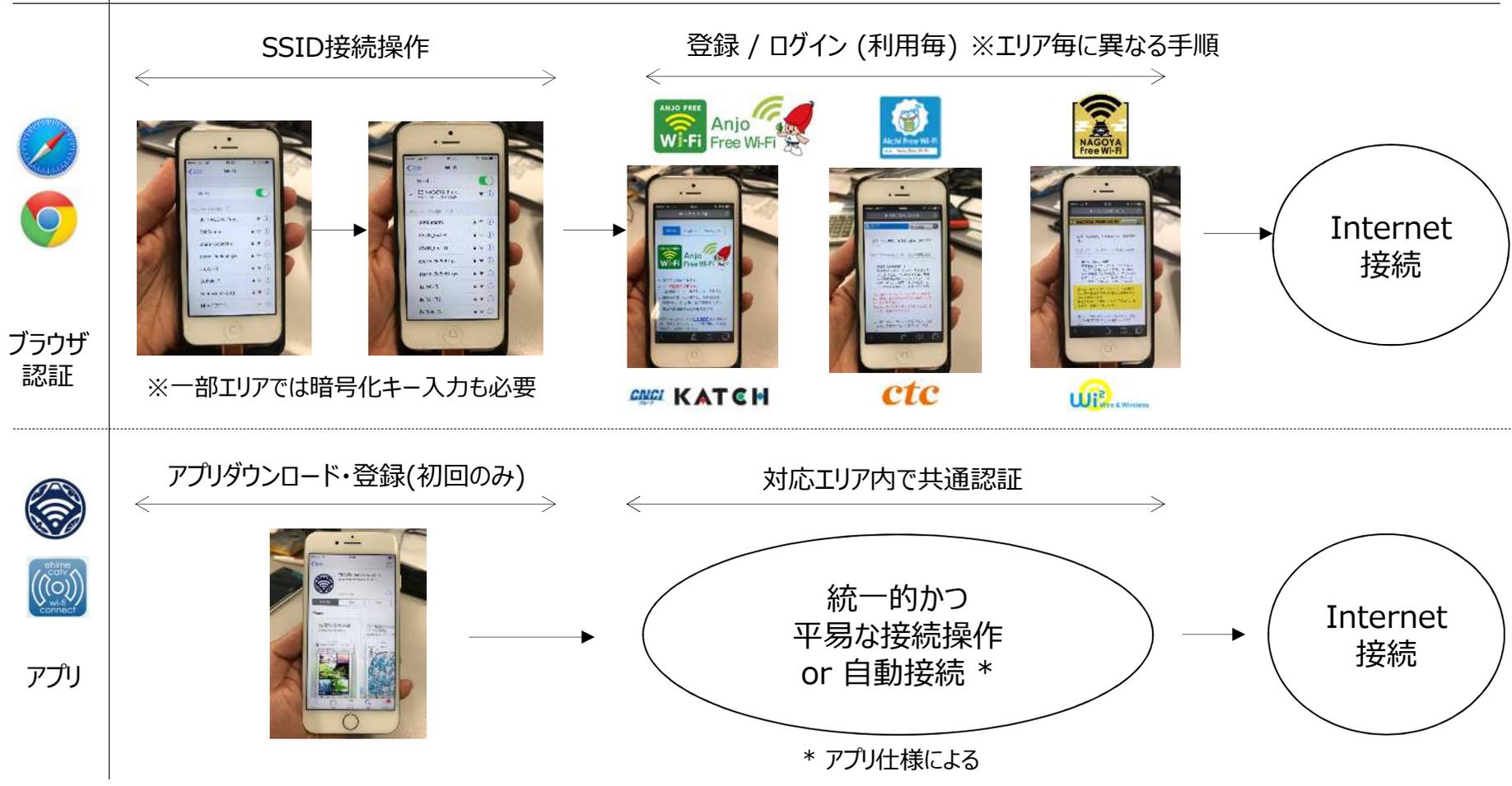
5. 本件にかかる協力事業者からの留意事項
※ 認証連携方式は、無線LAN推進協議会事務局にて実装された事業者側の認証連携方式で、一般利用者の無線LAN網設置・運用管理が不要な仕組み。高い事業者による整備。Web-API方式の導入は無線LAN網ネットワークにおいて、事業者が無線LAN網の運用・管理を行う必要がなくなります。



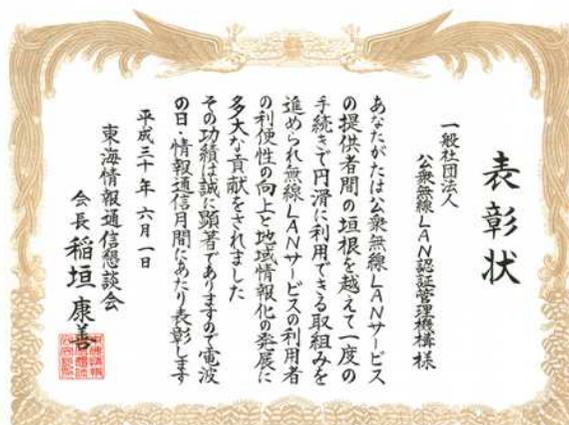
フィールドトライアルの結果 - 利便性の向上

一度だけ登録作業を行うことで、エリア内で自動的にインターネット接続を完了できるようになり、SSIDやネットワーク運用事業者の違いを意識することなく利用可能となったことを確認

平成29年度協議会(平成30年3月27日)報告より



平成30年6月1日に総務省東海総合通信局・東海情報通信懇談会により共催された電波の日・情報通信月間記念式典（東海管内）において、本取り組みについて東海情報通信懇談会会長表彰を受彰



一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟
NEWS RELEASE
2018年6月1日
(一社)日本ケーブルテレビ連盟

弊連盟が参加するWi-Certが自治体向け無料公衆無線LAN認証連携実証の取り組みで東海情報通信懇談会会長表彰を受彰

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟（東京都中央区、理事長：吉崎 正弘、以下 連盟）が参加する一般社団法人公衆無線LAN認証管理機構（東京都中央区、代表理事：猪俣 欽夫、以下 Wi-Cert）が2017年11月より愛知県で実施した無料公衆無線LAN認証連携実証の取り組みが、総務省東海総合通信局および東海情報通信懇談会共催の2018年度「電波の日・情報通信月間」記念式典において東海情報通信懇談会会長表彰を受彰したことを報告いたします。

<実証の概要>
愛知県における無料公衆無線LAN認証連携は、スマホアプリ上で一度登録手続きを行うことで、県内7つの自治体が推進するそれぞれの無料公衆無線LANサービスを個別の手続きなしに利用可能とする取り組みです。あいち無料公衆無線LAN推進協議会を中心に7つの自治体が連携し、2017年11月よりフィールドトライアルが行われてきました。
フィールドトライアルでは、各自治体の無料公衆無線LANサービスの運用を行う電気通信事業者7社が協力し、Wi-Certが策定・推進するWeb-API方式の認証連携に対応しました。2018年5月末時点では、Wi-CertのWeb-API方式に対応した5種類のアプリでこれら7つの自治体の無料公衆無線LANサービスを利用でき、利用者の利便性が高まりました。
ケーブルテレビ業界からは、株式会社コミュニティーネットワークセンター（以下 CNCT）のグループ各社が自治体の無料公衆無線LANを運用する事業者として参加し、株式会社愛媛CATV（以下 愛媛CATV）が認証連携に対応する無料公衆無線LANに接続できるアプリを提供する事業者として参加しました。

自治体名	SSID	ネットワーク事業者
愛知県	Aichi_Free_Wi-Fi	中部テレコミュニケーション
名古屋市	OO_NAGOYA_Free_Wi-Fi	ワイヤードワイレス
豊田市	ToyotaCity_Free_Wi-Fi_app	D&Dネットワーク（CNCTグループ）
安城市	Anjo-City_app	キャットネットワーク（CNCTグループ）
筑前市	Tokunome_City_app	箱崎無線ケーブルネットワーク（CNCTグループ）
みよし市	MiyoshiCity_Free_Wi-Fi_app	D&Dネットワーク（CNCTグループ）
津山町	Tsuyama_Free_Wi-Fi_app	スターネットワーク&ネットワーク（CNCTグループ）

利用可能な無料公衆無線LAN

接続に使うアプリ

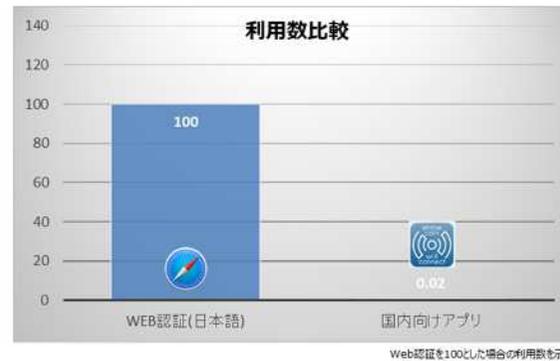
ケーブルテレビ事業者が運用

ユーザーは各自治体の利用規約に同意すれば、1つのアプリで7つの自治体で公衆無線LANを利用できます！

自治体様、関係事業者の協力のもと、実環境において目指す社会像を実装し、利便性の向上を実現したことを評価いただきました

一方で、フィールドトライアルを通じ、以下のような課題が判明
 自律的な取り組みへの発展を目指しフィールドトライアルを18年度も継続し、課題への取り組みを行うこととした

➤ アプリの種類限定性、属性の偏り



※ 平成29年度協議会(平成30年3月27日)報告資料より

➤ 既存の取り組みとの共存

ログイン後ポータルサイトによる情報発信(観光・防災)への活用ケース(図1)を念頭に、利便性とポータル表示動線の維持にさらなる考慮が望まれる点あり



図1. ログイン後ポータルサイトの例

➤ 対応ソリューションの限定性



通信事業者がEnd-End提供するセンター集約型サービスが中心
 フリーWi-Fi対応製品を用いて独自または地域のSIerが構築するケースも存在(図2)

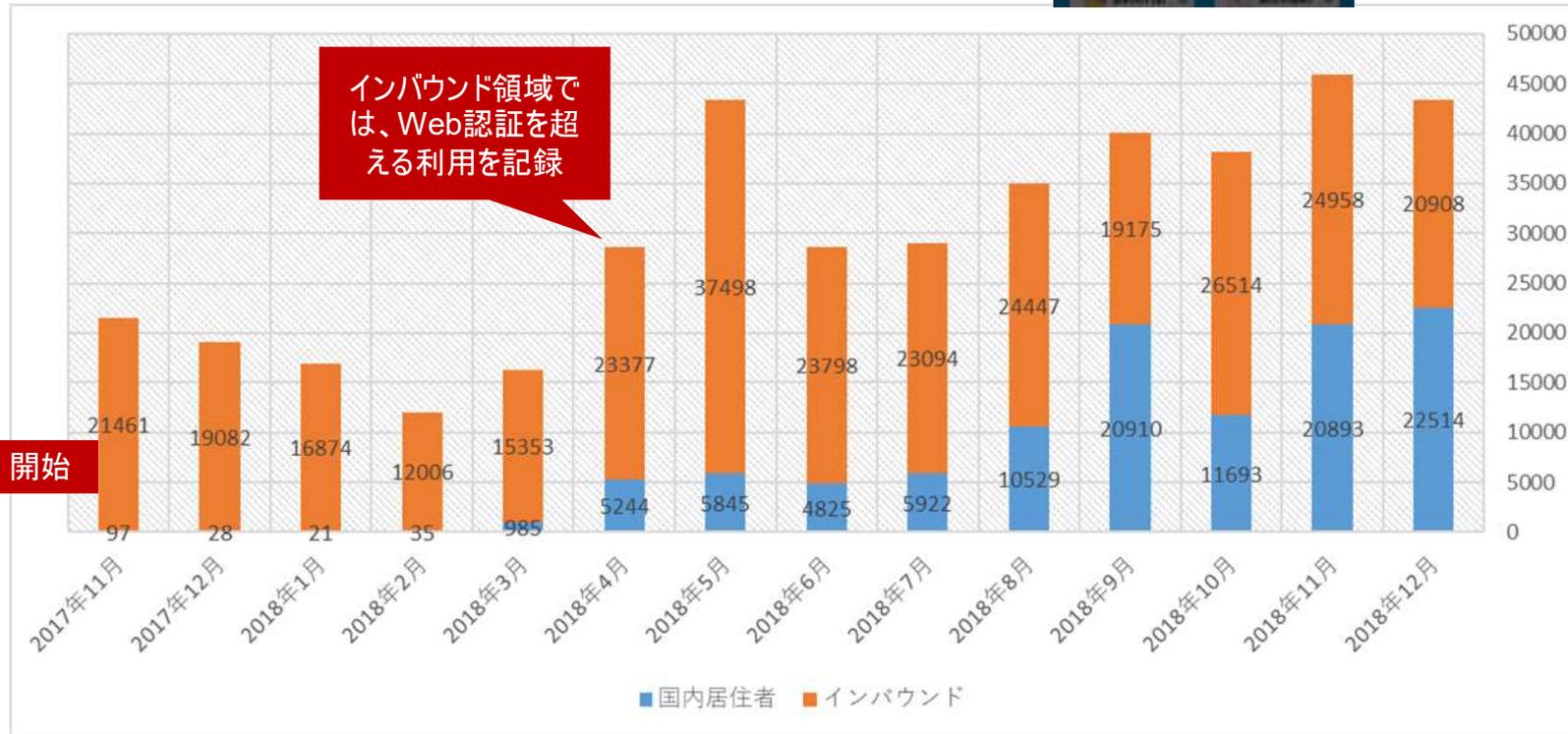
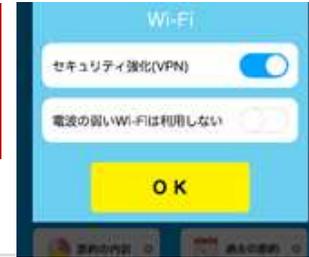


図2. フリーWi-Fi対応製品例

今年度(18年度)取り組み報告

【課題1】アプリの種類の特異性、属性の偏り

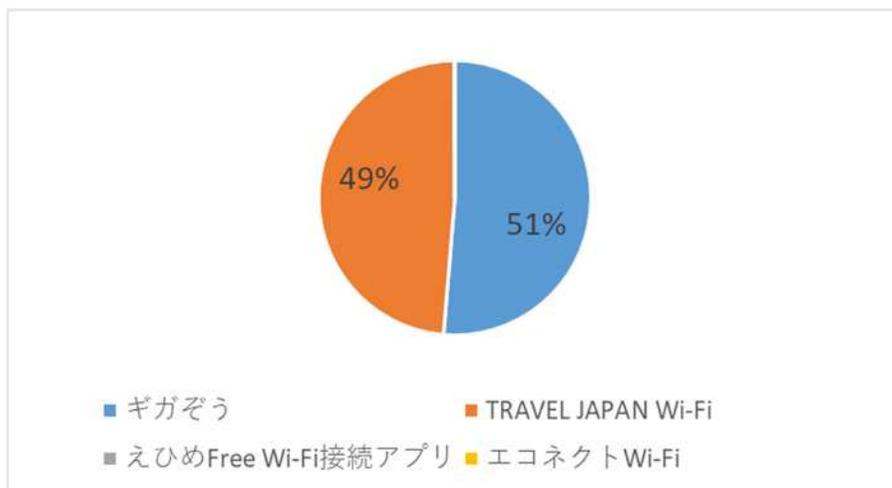
インバウンドに加え、国内居住者向けにも付加価値の高いアプリが登場・普及



名古屋市内においては、インバウンドの利用が多く見受けられる
その他の地域においては、国内ユーザの利用が中心となっている

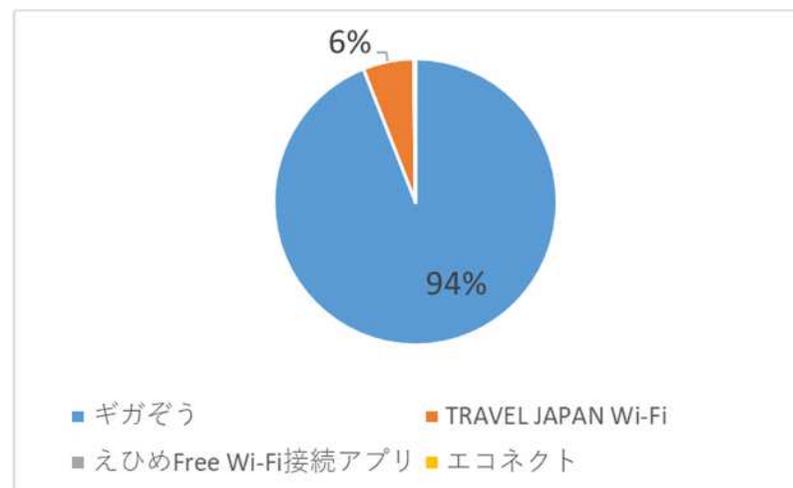
➤ アプリ認証数

名古屋市内(+愛知県有施設/拠点)



00_NAGOYA_Free_Wi-Fi
Aichi_Free_Wi-Fi

安城市・常滑市・みよし市・豊田市・豊山町



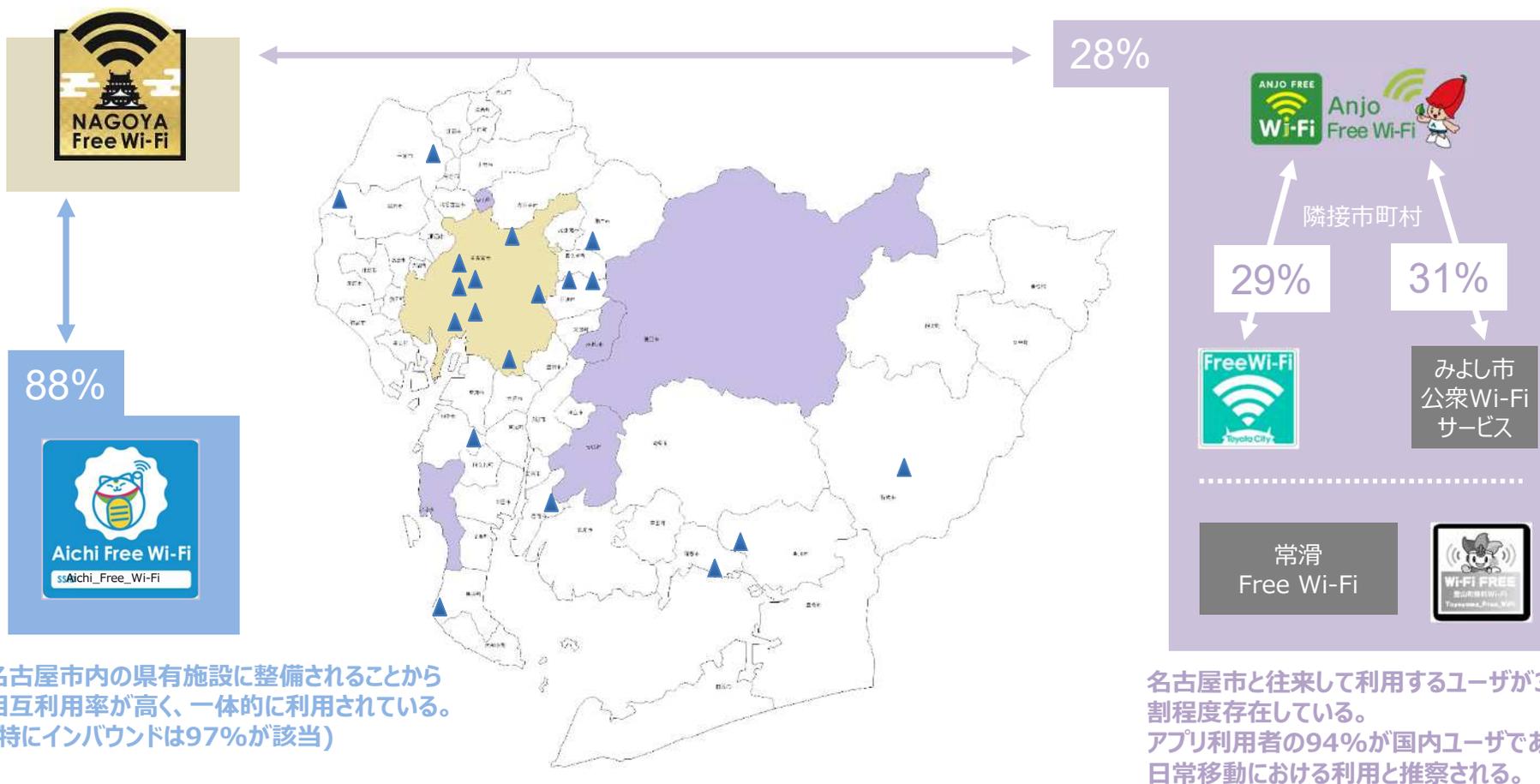
Anjo-City_app
Tokoname City_app
MiyoshiCity_Free_Wi-Fi_app
ToyotaCity_Free_Wi-Fi_app
Toyoyama_Free_WiFi_app

単位: 認証回数

調査期間: 2018/12/1~2018/12/31

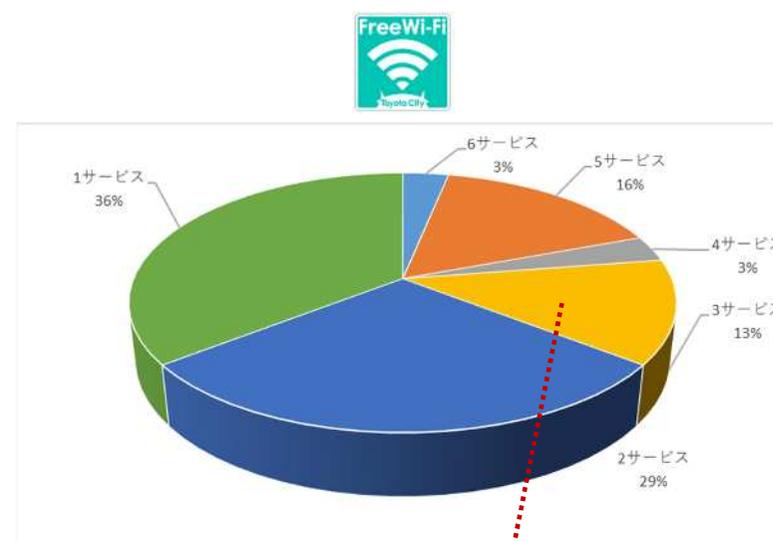
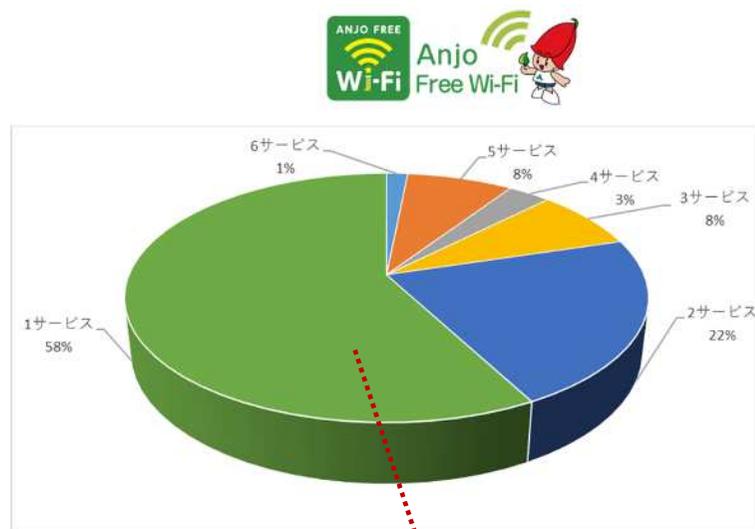
サービスの垣根を越えた利用実態(サービス間の移動)

最も利用者の多いNAGOYA Free Wi-Fiとの併用率を調査
Aichi Free Wi-Fi(愛知県整備)利用者では約9割、他自治体のフリー-Wi-Fiでは約3割の利用者が相互利用あり



サービスの垣根を越えた利用実態(複数サービスの利用)

アプリューザの利用サービス数を調査
 Anjo Free Wi-Fi利用者の4割以上、Toyota City Free Wi-Fi利用者の6割以上が他地域サービスとの併用



域内の繰り返し利用の利便を向上

2回目以降は自動的に接続

域内に加え、地域を跨ぐ利用の利便を向上

利用手順の違いを吸収

➤ 域内の繰り返し利用に加え、エリア間の移動を行うユーザーの利便向上に貢献

調査期間: 2018/12/1~2018/12/31

17年度末時点ではWeb認証に対して 0.02%であった国内ユーザのアプリ利用が
18年12月時点においては 3.5%まで伸長

1) インバウンドの利用



Web認証を100とした場合の利用数を示す

インバウンドのWi-Fi利用倍増に
引き続き寄与していると考えられる

2) 国内ユーザの利用

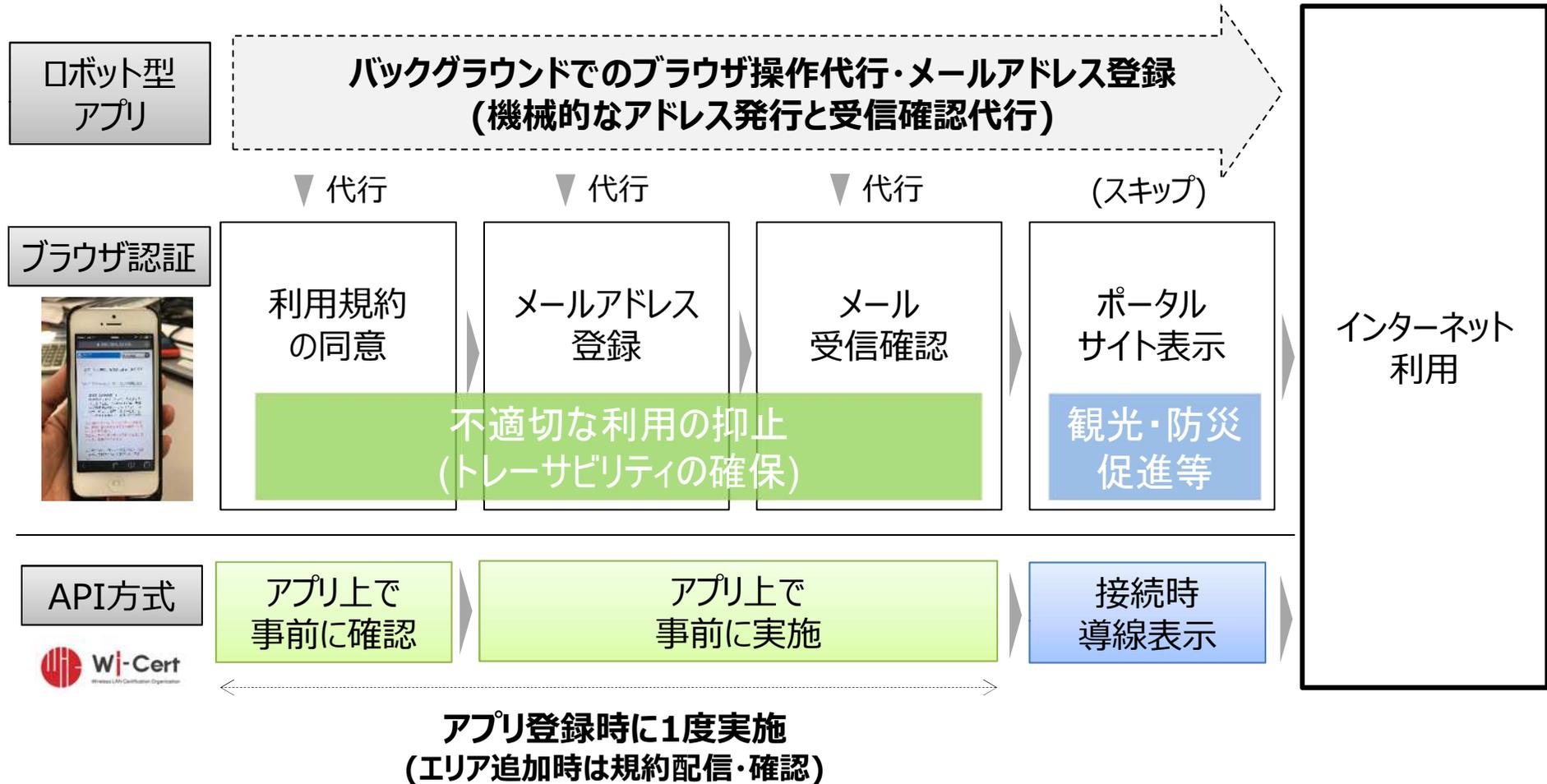


Web認証からロボット型アプリを除いた場合のアプリの値：14.0

国内居住者による利用も出てきているが
今後一層の伸長が期待される

調査期間: 2018/12/1~2018/12/31
対象エリア: Aichi_Free_Wi-Fi(愛知県)、00_NAGOYA_Free_Wi-Fi(名古屋市)

ユーザの利便性を向上させる一方で、既存の取り組みとの競合可能性あり
共存可能な認証連携の取り組み拡大により、利便性の向上と利用の適正化の両立を図る



【課題2】既存の取り組みとの共存

ランディングサイト指定のあるフリーWi-Fiにおいて表示機会を確保すべく、ポータル表示導線を強化
豊田市“Toyota City Free Wi-Fi”の認証連携本格対応(豊田スタジアム等)にあわせて運用開始(2月28日)

従来はアプリごとの導線実装



観光・防災など、サイトでのリアルタイムの情報提供を重視する自治体様向けに
新たな実装ガイドラインをWi-Certで策定



フリーWi-Fiの認証連携を積極的に利用いただくためアプリ側の実装を見直し
適切な規約確認手続きを維持しつつ、より簡単にアプリを利用いただけるユーザインターフェースを導入

➤ 従来の利用設定



アプリ初期登録後、FreeWi-Fi接続機能を個別にONにして、
プロフィールをインストールする必要あり

➤ 新しい利用設定



初期設定時に認証連携機能の
利用手続きを導入

新バージョンから利用開始したお客様から新フローとなるため、今後作用してくると想定

【課題3】対応ソリューションの限定性

通信事業者以外から対応アクセスポイントが製品化(2018年8月)
本ソリューションを使用した認証連携対応が愛知県において初めて商用化

豊橋市“豊橋市公衆無線LAN”における認証連携対応
(2019年2月28日開始: アプリ各社にて年度内の対応アップデート完了)

➤ 株式会社バッファロー製品による初の商用化事例

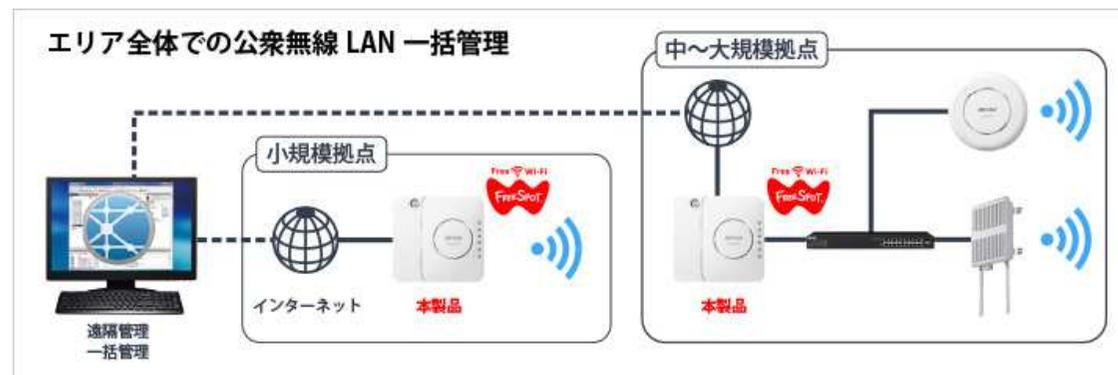


フリースポット導入キット FS-M1266

<https://www.buffalo.jp/product/detail/fs-m1266.html>



Web-API対応



3自治体様の対応開始についてのご案内

➤ 豊田市様

豊田市無料公衆無線LANがWeb-API方式による認証連携に対応しました

豊田市(愛知県)のフリーWi-Fiサービス「豊田市無料公衆無線LAN」がWeb-API方式の認証連携に対応し、対応アプリをインストール・ご登録いただくことでご利用のたびにお客様の情報を登録いただくことなくインターネットに接続いただけるようになりました。

豊田市無料公衆無線LANはひまわりネットワーク株式会社及び株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレスにより構築・運営されており、2017年11月より一部エリアでWeb-API方式の認証機能が試行提供されていましたが、今般全エリアに対象が拡大されました。また、今年ラグビーワールドカップ2019の試合開催が予定されるなど、多くのイベントが開催される豊田スタジアムも新たに全席が対応エリアとなり、国内外から会場を訪れるお客様へ簡単にシームレスなフリーWi-Fi接続が提供されます。



ご参考: エリアサイン

SSID「ToyotaCity_Free_Wi-Fi」のエリアで対応アプリをご利用いただけます。

現時点でご利用いただけるアプリは以下の通りです

アプリ名称	提供元	備考
えひめFree Wi-Fi接続アプリ	株式会社愛媛CATV	
ギガぞう	株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス	
TRAVEL JAPAN Wi-Fi (訪日外国人専用)	同上	訪日外国人専用 ※本アプリをベースにした提携ブランドアプリでもご利用いただけます

➤ 豊橋市様

豊橋市公衆無線LANがWeb-API方式による認証連携に対応しました

豊橋市(愛知県)のフリーWi-Fiサービス「豊橋市公衆無線LAN」の本庁舎1階、13階がWeb-API方式の認証連携に対応し、対応アプリをご利用いただくことでご利用のたびに登録いただくことなくご利用いただけるようになりました。

本エリアは株式会社バッファローの法人向けFREESPOT導入キット「FS-1266」を用いて構築・運営されており、同製品に搭載されたWeb-API機能を用いて認証連携への対応を実現しています。

※SSID「Toyohashi_Wi-Cert」のエリアで対応アプリをご利用いただけます。



株式会社バッファロー FS-M1266(Web-API対応)

現時点で「えひめFree Wi-Fi接続アプリ」(株式会社愛媛CATV)、「ギガぞう」(株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス)にてご利用いただけるようになっており、お客様のご利用用途に応じてアプリを選択して「豊橋市公衆無線LAN」をご利用いただけます。今後対応アプリは順次追加される予定です。

(ご参考)

豊橋市公衆無線LAN(豊橋市)
<http://www.city.toyohashi.jp/11411.htm>

管理者機能搭載 法人向けFREESPOT導入キット FS-1266
<https://www.buffalo.jp/product/detail/fs-m1266.html>

➤ 飛騨市様(ご参考)

飛騨市「Hida Free Wi-Fi」がWeb-API方式による認証連携に対応しました

投稿日: 2019年2月27日 | カテゴリー: [お知らせ](#)

飛騨市(岐阜県)の公衆無線LANサービス「Hida Free Wi-Fi」がWeb-API方式の認証連携に対応し、対応アプリをご利用いただくことで、ご利用のたびに登録いただくことなくご利用いただけるようになりました。

本エリアは、飛騨高山ケーブルネットワーク株式会社により運営されており、同社の認証基盤において新たにWeb-API方式の認証機能の実装が完了したことから、今般認証連携が開始されたものです。



SSID「Hida Free Wi-Fi」のエリアで対応アプリをご利用いただけます。

現時点で「えひめFree Wi-Fi接続アプリ」(株式会社愛媛CATV)、「ギガぞう」(株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス)にてご利用いただけるようになっており、お客様のご利用用途に応じてアプリを選択して「Hida Free Wi-Fi」をご利用いただけます。今後対応アプリは順次追加される予定です。

(ご参考)

飛騨市公衆無線LANサービス「Hida Free Wi-Fi」について(飛騨市)
<https://www.city.hida.gifu.jp/soshiki/5/wi-fi.html>

飛騨高山ケーブルネットワーク株式会社
<https://www.hidatekayama.tv/>

- 当初目的であった総務省の取り組み方針における社会像の具現化、その効用(利便性の改善および利用方法の多様化)については、17年度内に実証し、一定の成果があったものと考えられる。
- アプリ・ソリューションの多様化、行政の取り組みとの融和など、明らかになった課題については17年度に構築した実環境下で取り組みを推進し、18年度を通じて一定の進展を見ることができた
- 本トライアルの開始をふまえ、国内各地で認証連携が拡がりを見せつつある

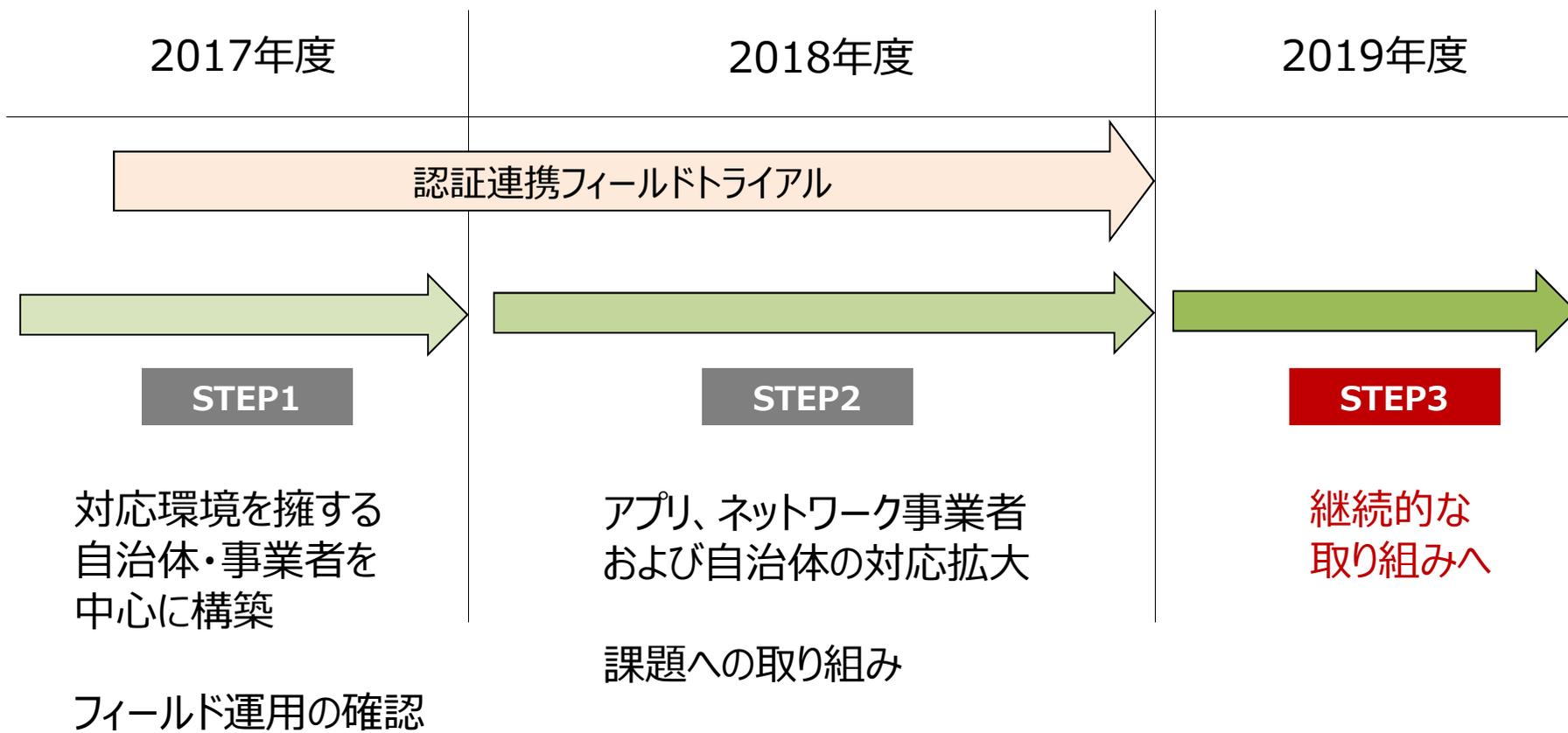
認証連携フィールドトライアルは認証連携の効用の実証、課題の解決を通じ、今後の拡大の基礎を築く役割を果たすことができた。

18年度末をもって認証連携フィールドトライアルの枠組みは終結し、19年度以降は本格運用としてWi-Certの標準的な枠組みへ移行

県内の自治体様の協力をいただきながら、認証連携の枠組みをさらに県内において普及拡大していきたい。

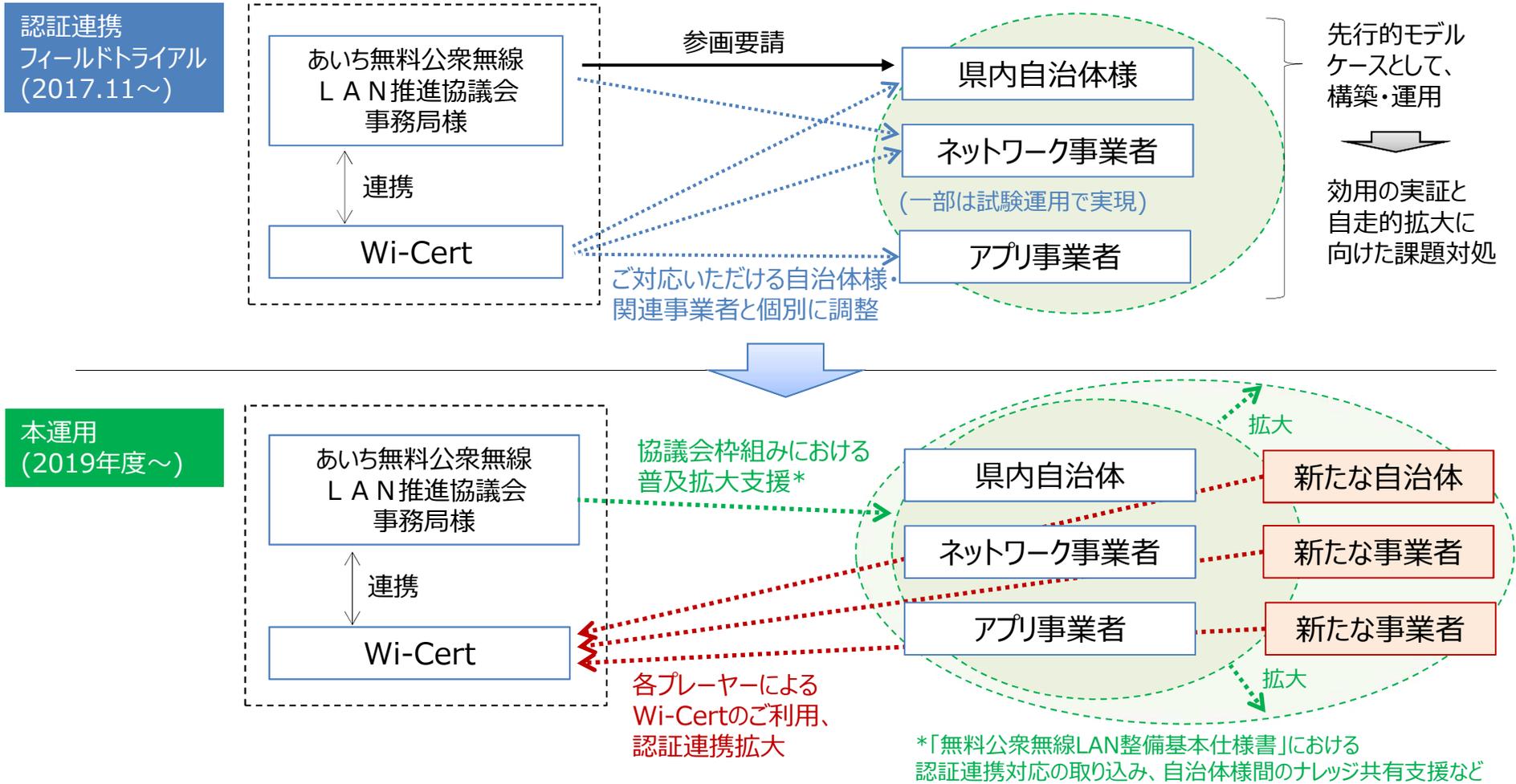
来年度(19年度)以降の展開に向けて

全国における拡がりを背景に、
来年度以降は自律的な枠組みのもと、継続的な取り組みへ移行



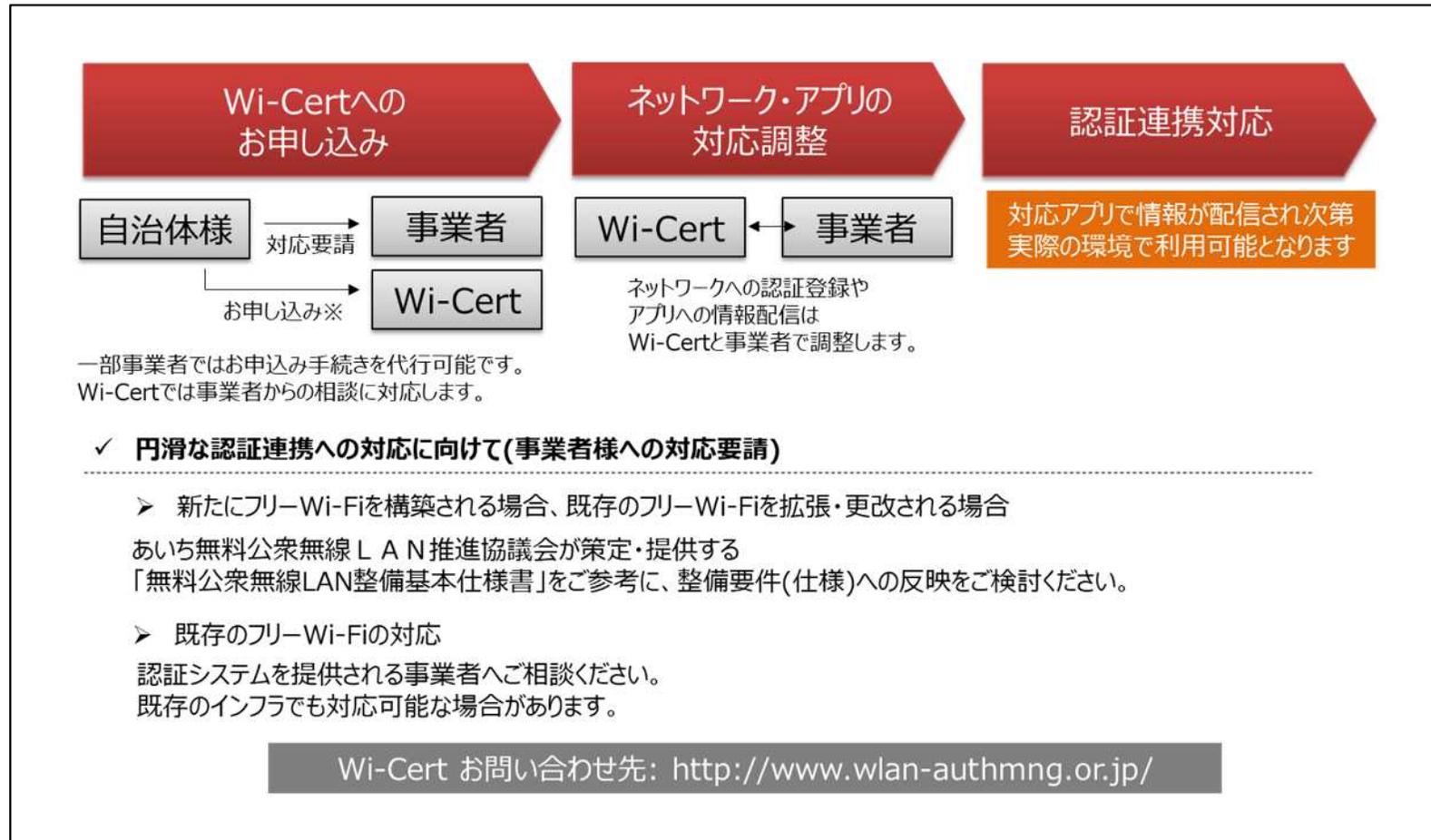
19年度以降の運用

Wi-Certがオープンに認証連携を活用可能な枠組みを提供
協議会と連携し、多くの自治体様にご利用いただける環境を目指す

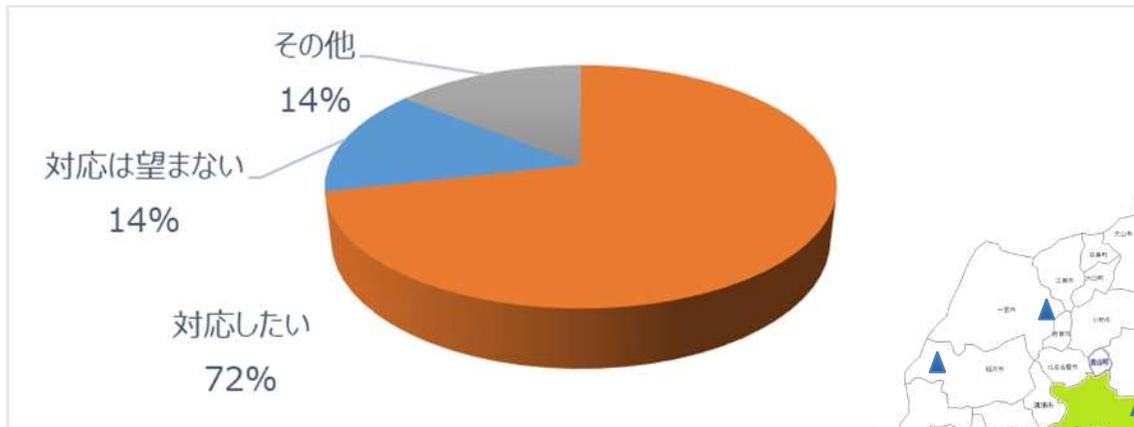


Wi-Certの認証連携の枠組みをご利用いただけるようご案内します

➤ 自治体様へのご案内イメージ



▶ トライアル参加自治体様ご意向(今後の認証連携対応について)

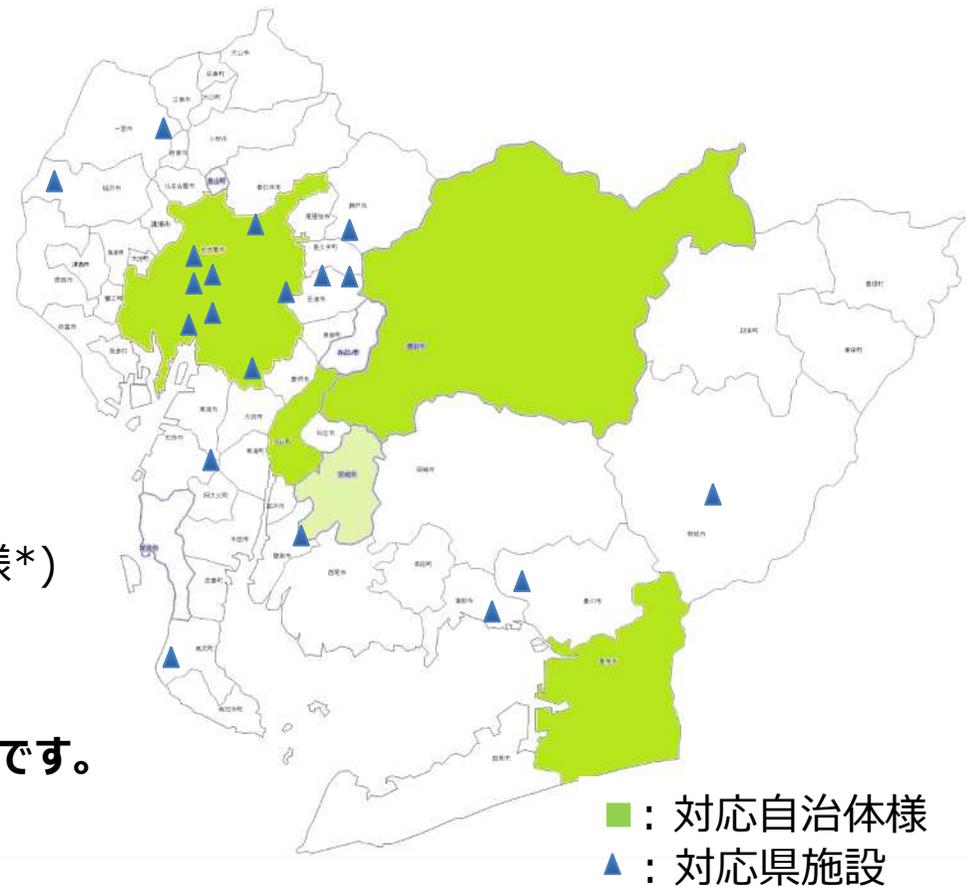


“その他”の自治体様:
取り組み自体は賛同するが連携の影響について継続検討希望

2019年4月時点においては、
フィールドトライアルを実施した自治体
のうち、4自治体で引き続きご利用いただけます
(愛知県様、名古屋市様、豊田市様、安城市様*)

また、新たに2自治体で運用開始となり
(豊橋市様、刈谷市様)
計6自治体、約2千APでご利用いただける予定です。

* 安城市様は試験運用

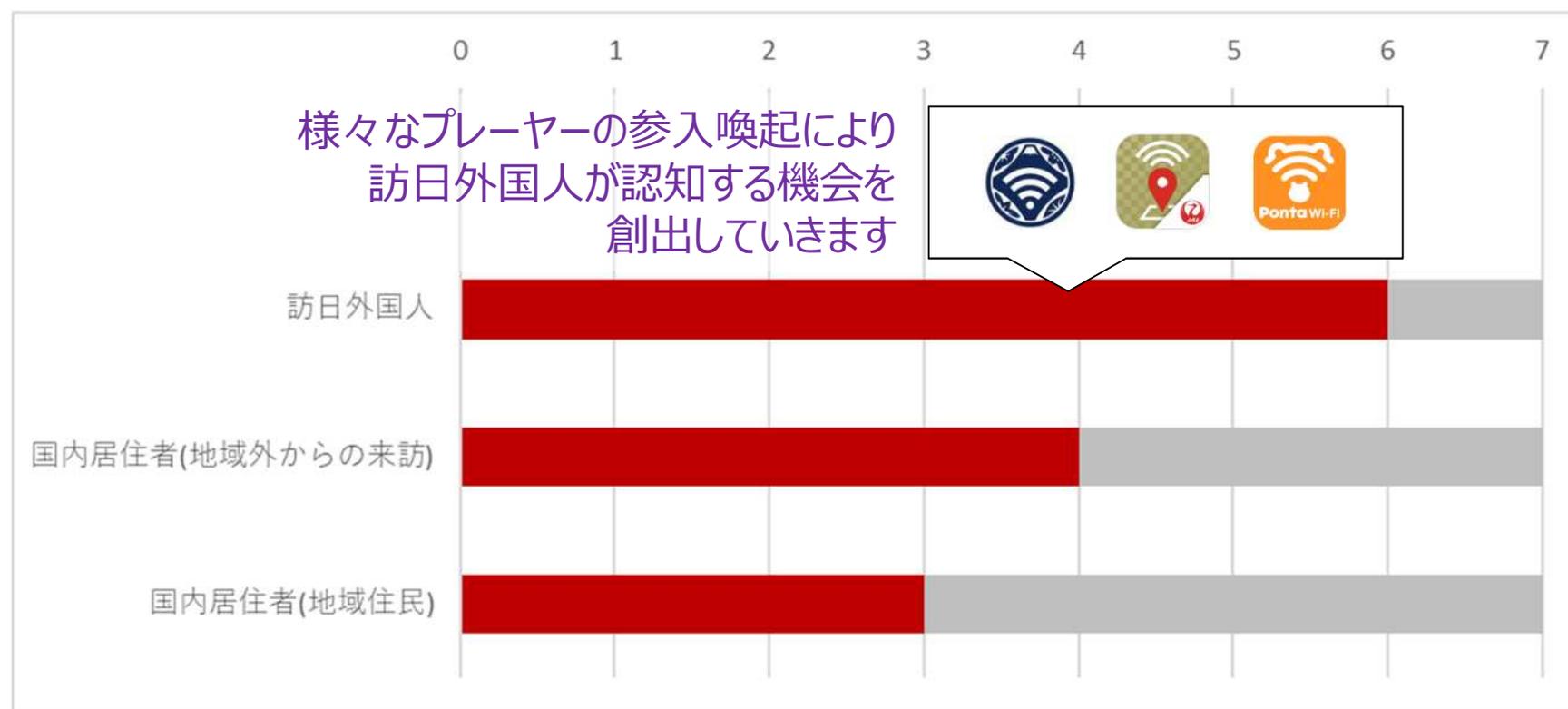


(ご参考)参加自治体様アンケート

※Wi-Certが2019年3月に実施した
アンケート結果より統計した結果となります

現状の外国人の利用状況には地域による偏在はありますが、多くの自治体様で特にインバウンドの利用改善に期待を寄せていただいています。

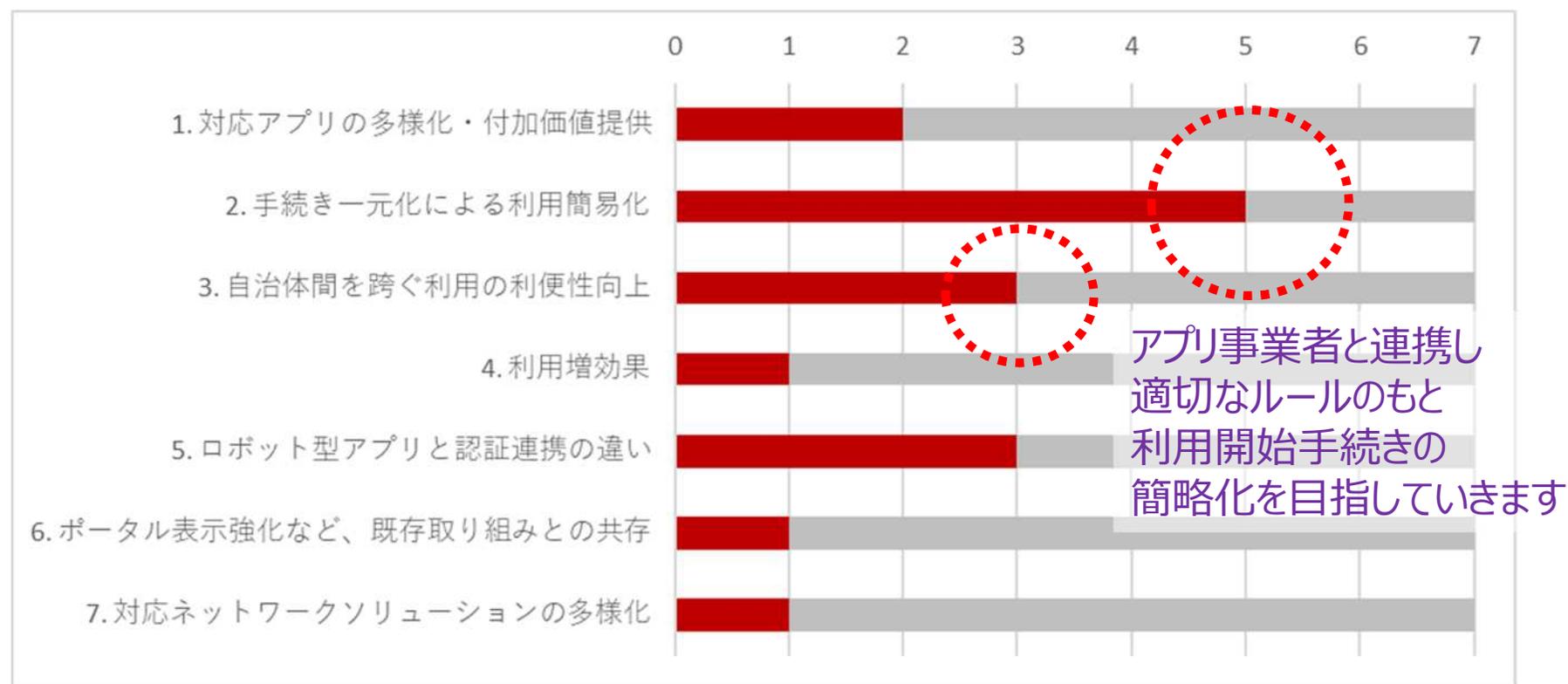
➤ 認証連携の効果を期待する属性



(複数回答可)

多くの自治体様で、手続きの一元化による利便性向上、エリア間移動の容易化に特に関心をいただいています。

➤ 特に関心のあるポイント



(複数回答可)

いただいたお声を、今後の認証連携の普及活動に活かしていきます。

- ✓ 対応するネットワークサービス・製品がなお限られていることを課題として挙げる声を多くいただきました。
- ✓ あわせて、認証連携による利便の向上が公共のWi-Fi領域をこえて拡大していくことを期待する声もいただきました。

→ 制度・技術両面において通信事業者が活用し易い環境を整えるとともに、引き続き多くのエリアでご利用いただけるよう検討していきます。

- ✓ アプリの多様化については、一定の評価をいただいておりますが、ロボット型アプリの需要を取り込むことを期待する声がありました。
- ✓ 一方で、アプリ利用時においてもポータルサイトへの表示誘導が確実に行われることに期待する声も見受けられました。

→ 一定のルールを維持しながら、商用事業者の需要喚起による認証連携の利用拡大を目指していきます。